

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第19回研修を開催しました！

令和7年10月24日（金）、25日（土）に、雫石町南畑のコテージむらにおいて、いわて新農業人チャレンジファーム第19回研修を開催しました。

今回は、作付計画についての講義と、トマトの収穫と片付け、はくさいの収穫及び露地ほ場への堆肥散布作業を実施しました。

講義では、次年度に向けた作付計画の立て方や考え方について指導員から解説しました。次年度の計画を立てる前に、まずは今作の栽培方法や生育状況、作業時間などを整理したうえで次年度への計画を立てること。また、作付する野菜は販売方法やコスト、労力などを考慮して選択するよう説明しました。「整理したことを実際に書き出すことで、振り返りによる改善点の計画の漏れが少なくなる。」と指導員から受講生へ計画作成についてアドバイスしました。

講義後半には、配布した計画書の様式を使って、受講生それぞれが栽培したい野菜、または

栽培している野菜について、実際に作付計画を作成しました。

実習では、初めにパイプハウスにおいてトマトの収穫と誘引資材やマルチの撤去、株の抜き取りなどの片付け作業のあとに、露地ほ場へ移動して、はくさいの収穫を行いました。今作のはくさいは、栽培期間がやや短かったことから、球がやや小さい生育となりました。次作では今回の経験を踏まえて、より良いものを栽培したいと感じました。

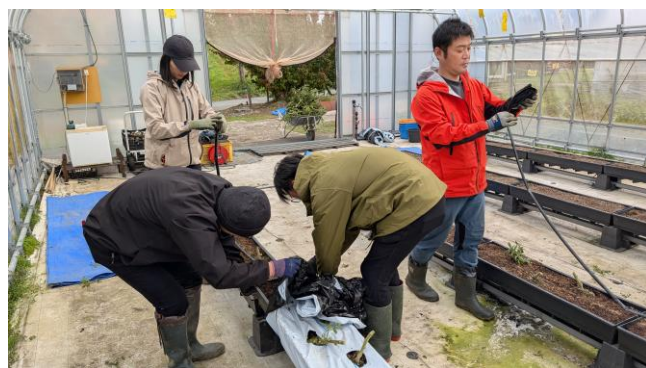
最後に、各曜日の受講生で、露地ほ場へ秋起こし前の堆肥散布を実施して、今年の実習を終えました。

今回の研修で、コテージむらを会場とした研修は終了となりました。これまでの研修で学んだことをしっかりと復習して、今後の営農や栽培に活かしていきましょう。

次回の研修は、11月1日（土）に、株式会社いわて若江農園へ視察研修に伺う予定です。



次年度に向けた作付計画を作る受講生



トマト栽培槽のマルチなどを撤去する受講生



はくさいを収穫する受講生



露地ほ場への堆肥散布の様子